

# 女性のつながりサポート事業【春日井市】

## 地域の実情と課題

春日井市においても、新型コロナウイルス感染症の影響により、生活スタイルや働き方の変化したことで、社会との接点がなくなり孤立や孤独で不安を抱える女性や、休業や失業に直面する女性、経済的困窮などにより生理用品が購入できない「生理の貧困」など、様々な困難や課題を抱える女性が増加している。そのため、緊急的に女性の相談窓口を設置し、不安の解消に寄り添った支援を行うとともに、他機関と連携し必要な機関につなげる必要がある。

## 目的・目標

【目的】 NPO法人等に委託し、電話やSNSによる緊急的な相談窓口を設置し、不安を抱える女性の相談を受け、一人ひとりに適した支援機関につなげる。また、公共施設や学校を通じてリーフレットを配布するとともに、必要な女性に対して生理用品を配布し、相談窓口に繋げる。

【目標】相談件数200件、人材育成講座受講者数20人を目指す。

## 事業の特徴

### ①女性のつながりサポート相談事業

不安を抱える女性が社会との絆・つながりを回復することができるよう、特定非営利活動法人等の知見や能力を活用し、電話やSNSによる相談を行い、既存の相談窓口と連携してきめ細かく支援する。また、必要に応じて支援機関への同行や生理用品の配布を行う。

### ②女性のつながりサポート人材育成事業

不安を抱える女性を支援するため、傾聴のスキルを持ち主体的に居場所づくりをしたり、春日井市青少年女性センターでのイベントの企画提案や運営サポートができる人材を育成する。

## 連携団体

- ・公共施設や学校などが協力機関となり、市民への案内リーフレットや必要な方への生理用品を配布した。
- ・制度を活用した具体的な支援が必要な場合は、受託者であるNPO法人が核となり協力機関・支援機関と連携して支援した。
- ・人材育成にあたっては、託児ボランティアや大学に協力を仰ぎ、知識や経験を共有した。

## 事業の効果

相談時間の延長、相談手段の拡充によりこれまで対応できなかった層に対応し、支援することができた。また、講座を開催することによって、不安を抱える女性を支援する人材を育成することができた。

## 今後の課題

相談窓口を必要としている人に情報が伝わるよう、また、より多くの人に講座を受講してもらえるよう、周知方法を検討する必要がある。

# 事業の概要

## ○女性のつながりサポート相談事業

NPO法人等に委託し、電話やSNSによる緊急的な相談窓口を設置し、不安を抱える女性の相談を受け、一人ひとりに適した支援機関につなげる。また、公共施設や学校を通じてリーフレットを配布するとともに、必要な女性に対して生理用品を配布し、相談窓口に繋げる。

【相談日時】平日 午前9時～午後9時

【相談方法】電話、メール、SNS、面接

【相談件数】75件

【生理用品の配布】公共施設、小中学校、高等学校等で配布

【啓発活動】相談窓口案内チラシ・案内カード・リーフレットの配布、ショッピングセンターでのイベント開催、Instagramへの投稿

## ○女性のつながりサポート人材育成事業

不安を抱える女性を支援するため、傾聴のスキルを身に付け主体的に居場所づくりをしたり、女性の多様なニーズに応じたイベントの企画や運営ができる人材を育成する。

【開催講座名】ボランティア養成講座

【日時】令和4年2月24日、3月3日、3月10日、3月17日 午後1時30分から午後3時30分まで

【参加人数】申込10人、修了8人

【内容】①託児ボランティアとは ～日頃の活動から～②乳幼児期の子どもの心身の発達と病気③子育て支援で大切なこと ～発達に応じたコミュニケーション④子どものけが予防と応急手当

【今後の活動】修了生8人中7人が活動を希望しており、学習の機会を引き続き提供しながら自主的な女性の支援活動を計画していく。

